

# ちば 県議会だより NO.135

会派別議員数

自民党	56人
民主党	16人
公明党	7人
共産党	4人
市民ネット・社民・無所属	4人
みんなの党	4人
千葉県民の声	1人
無所属の会	1人
開拓	1人
生活が第一	1人
定数95人 現員95人	
(平成24年7月20日現在)	

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行/千葉県議会 編集/千葉県議会事務局政務調査課 千葉市中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話043 (223) 2523 ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html>

## 六月定例会県議会のあらまし

六月定例会県議会は、六月十二日に招集され、七月六日までの二十五日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、各種条例案等の議案二十二件、報告十八件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

六月十九日には、代表質問に先立ち放射能を含むごみ焼却灰に関する一時保管場所を決定した旨の知事発言がありました。

六月十九日から六日間にわたり行われた代表質問及び一般質問は、二十三名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、防災対策、放射能問題、医療・福祉対策、雇用問題等について活発な議論が展開されました。

各常任委員会は、六月二十八日から七月三日まで開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

最終日には、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案については原案のとおり可決・承認されました。

その後、人事案件四件が追加上程され原案のとおり同意されました。

次に、上程された議員発議案(意見書等)について、二十八件のうち十四件を可決し、今定例会県議会に付議されたすべての案件の審議を終了しました。

また、各常任委員会及び議会運営委員会において、任期満了に伴う委員の選任及び正副委員長の互選が行われました。

最後に伊藤和男議長、田中宗隆副議長の辞職により正副議長選挙が行われました。

## 代表質問

※質問項目は、紙面の都合上一人六項目以内で掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。



六月二十日(水)

公明党  
あきばやし たかし  
秋林 貴史 議員  
(松戸市)

- ▼ 震災対策
- ▼ 放射能問題
- ▼ 交通安全対策
- ▼ 安全な水道水対策
- ▼ 老朽化した社会インフラの整備
- ▼ 松戸市立病院



民主党  
ほりえ  
堀江 はつ 議員  
(船橋市)

- ▼ 財政問題
- ▼ 医療・福祉問題
- ▼ 地域防災計画の見直し
- ▼ 雇用・労働問題
- ▼ 治安・交通安全対策
- ▼ DV防止・被害者支援対策



六月十九日(火)

自民党  
にしたさんご  
西田 三十五 議員  
(佐倉市)

- ▼ 財政問題
- ▼ 震災対策
- ▼ 防災体制の強化
- ▼ 放射性物質対策
- ▼ 災害廃棄物の広域処理
- ▼ 観光振興

第66代 議長



かわな ひろあき  
川名 寛章 議員  
(君津市・5期)

第64代 副議長



さとう まさみ  
佐藤 正己 議員  
(習志野市・4期)

7月6日(最終日)の本会議において、第66代議長に川名寛章議員、第64代副議長に佐藤正己議員がそれぞれ選出されました。

就任にあたり、川名議長は「真の豊かさを実現できる県民生活を実現するため、開かれた議会運営を目指し、620万県民の負託と信頼に応えるため、誠心誠意その職務に当たりたい。」と抱負を述べました。

また、佐藤副議長は「議長を支え、公正かつ円滑な議会運営のため全力を尽くしたい。」とあいさつしました。

## ちば中学生県議会を開催



6月12日の本会議散会后、中学3年生によるちば中学生県議会が開かれました。

中学社会科の「地方の政治と自治」の体験学習として、県内の公立・私立中学校95校から中学生議員と中学生傍聴者の190名が参加しました。

伊藤県議会議長のあいさつにつづき、森田知事から県政の概要説明が行われ、その後、中学生議員が登壇、県の施策等について質問し、関係課長が答弁を行いました。

最後に「交通安全の推進による安心して暮らせるちばづくりに関する決議」を全員一致で可決し、田中副議長のあいさつの後、ちば中学生県議会は終了しました。(決議文は3面に掲載)



# 代表質問から

## 財政

**問** 平成二十四年度の財政運営について、どのように考えているのか。

**答** 海外景気の下振れやデフレの進行など、本県経済を取り巻く環境は、厳しいものとなっている。今後も、執行段階における経費の節減を図るとともに、経済活性化や観光振興など、千葉県を元気にする施策を積極的に進めることにより、県税収入を確保し、計画的な財政運営に努めていく。

## 震災対策

**問** 津波浸水予測図及び液化化しやすいマップを公表したが、この成果を、今後、どのように活用していくのか。

**答** 津波浸水予測図を活用し、県民の津波避難意識の高揚や市町村における津波ハザードマップ、津波避難計画の作成を支援するなど、津波発生時に安全に避難できるように努めていく。

また、この液化化しやすいマップをもとに、震度五強を超えると液化化しやすい地域などの情報を県民に提供し、液化化対策を促進していきたい。

さらに、既存住宅についても、国や大学などの研究機関が実施している新たな液化化対策工法の研究成果や施工例など、具体的な液化化対策について、分かりやすい広報に努めていく。

**問** 障害者などの災害時要援護者や女性に配慮した対策の取組状況はどうか。

**答** このたび公表した地域防災計画修正案においては、災害時要援護者や女性の視点を盛り込んでおり、今後、市町村と連携し、災害時要援護者に配慮した備蓄や避難所運営における女性の参画の促進など、さまざまな対策を進めていきたい。

## 放射性物質

**問** 市町村のゴミ処理施設から発生する放射性物質を含んだ焼却灰等の一時保管について、今後、どのように進めていくのか。

**答** 県では、一時保管場所として手賀沼流域下水道終末処理場を使用するため、今後、国や関係市との調整を進めることとなる。一時保管施設の完成までに概ね四か月を見込んでいく。

また、国が行う指定廃棄物の最終処分場については、国が責任を持つて確保することを環境大臣に確認した。

一時保管の解消には、指定廃棄物の最終処分場が不可欠であることから、早期に設置するよう、県として国に全面的に協力していく。

**問** 湖沼・海域など公共用水域における放射性物質のモニタリング調査について、どのように取り組んでいくのか。

**答** 底質の放射性物質濃度が比較的高い地点を中心として、手賀沼

と印旛沼及びその流入河川四十二地点で、五月から県独自の調査を実施している。

さらに、東京湾については、国が湾北部を中心に調査を実施しているが、東京湾全体の状況を把握するため、県独自で湾南部にも調査地点を追加し、湾全体で二十五地点において、国と連携しながら調査を開始した。

今後とも、放射性物質のモニタリング調査を実施し、公共用水域の水質と底質の実態を的確に把握するとともに、県民の安心につながるよう、速やかに調査結果を公表していく。

**問** 県立学校の除染の実施概要と着手予定はどうか。

**答** 県立学校の除染は「千葉県放射性物質除染実施プラン」に基づき、これまでの検証結果を踏まえ、地表面の土をほぎ取ったり、芝を深く刈り取るなどの方法で行う。特別支援学校は七月中旬、高等学校は七月下旬に着手することとしている。

## ホルムアルデヒド

**問** 利根川水系浄水場におけるホルムアルデヒドの検出について、今後、同様の事態に備え、県では、どのように対応していくのか。

**答** 今回、関係事業者などにおける情報伝達に課題が見られたことから、今後、水道事業体間で、より迅速に情報共有できる体制を整備するとともに、住民へのより効果的な情報提供のあり方についても、市町村等と十分協議し、検討していく。

また、県では、今回ホルムアルデヒドの除去に効果が見られた高度浄水施設を順次導入すること

しており、北千葉広域水道企業団においても、平成二十六年度中の稼働に向け、現在、施設の建設を進めている。

さらに、県として、浄水過程においてホルムアルデヒドを生成させる物質に対し、速やかな法的規制を講ずるよう、国に要望した。

## アクアライン

**問** ちばアクアラインマラソンを契機とした千葉の魅力発信を、どのように進めていくのか。

**答** 現在、さまざまなメディアを活用して、大会の周知はもとより、本県の地域情報や観光情報などの発信に努めている。

また、大会の模様は、後日テレビ放送される予定であり、本県紹介のための催し物や特産品の提供などをイベント会場やコースに展開させ、千葉の魅力を一堂に詰め込んで、まるごと発信されるよう努めていく。

さらに、大会の開催にあわせた台湾など海外からのモニターツアーの実施や県内在住の外国人などから任命したチーバくん大使の活用などにより、海外へも千葉の魅力を積極的に発信していく。



東京湾アクアライン

援センターにおいて、千葉県内主要病院への研修医確保に向け、どのような事業が進められているのか。

**答** 同センターでは、内視鏡検査や手術など高度な医療技術をシミュレーション機器により、安全にトレーニングできる研修などを開催し、研修医等の技術向上を支援している。

また、県内外の医学生や研修医が多数集まる就職説明会での県内病院の紹介、病院見学バスツアーの開催、出産・育児等で休業している女性医師への就業相談などの事業を行っている。

さらに、本年度から研修医の登録制度を開始し、専門的なキャリアの習得が可能な後期研修プログラムの研修病院の特徴など、研修医の関心が高い情報を提供し、研修医の県内定着を図っていく。

## 交通安全

**問** 通学路の交通安全対策について、県としてどのように取り組んでいくのか。

**答** 先般、館山市で起きた児童の登校時の交通事故を受け、市町村教育委員会に、改めて、警察、道路管理者と連携、協働し、通学路の安全点検を指導したところであり、市町村では、関係機関と合同で通学路を調査し、道路状況に応じた対応を検討している。

県としても、地域の協力を得た登下校時の交通安全指導等、児童生徒の交通安全対策により一層努めていく。

## 医師確保

医師キャリアアップ・就職支



チーバくん

### 可決・承認・同意された議案

◆条例の制定(七件)

- ▽千葉県射撃場設置管理条例
- ▽県が管理する県道の構造の技術的基準を定める条例
- ▽県が管理する県道に設ける案内標識及び警戒標識等の寸法を定める条例
- ▽県が管理する県道に係る移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例
- ▽千葉県立都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例
- ▽流域下水道の構造の技術上の基準及び終末処理場の維持管理に関する条例
- ▽高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る信号機等に関する基準を定める条例

◆条例の一部改正(十一件)

- ▽職員の特種勤務手当に関する条例
- ▽千葉県県税条例
- ▽千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
- ▽議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例
- ▽千葉県生涯大学校設置管理条例
- ▽千葉県介護職員処遇改善等臨時特例基金条例
- ▽食品衛生法施行条例
- ▽千葉県環境保全条例
- ▽千葉県臨港地区構造物規制条例
- ▽千葉県立都市公園条例
- ▽千葉県風致地区条例

◆その他(八件)

- ▽契約の締結
- ▽契約の変更
- ▽訴えの提訴
- ▽専決処分承認
- ▽教育委員会委員の任命同意
- ▽人事委員会委員の選任同意
- ▽監査委員の選任同意(二件)

### 可決された意見書・決議

- ▽私学助成制度の堅持及び充実強化に関する意見書
- ▽北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書
- ▽登記の事務・権限等の地方への移譲に関する意見書
- ▽いわゆる脱法ドラッグとりわけ脱法ハーブに対する指導取り締まり等の強化を求める意見書
- ▽警察官の増員に関する意見書
- ▽節電啓発のための電力使用量可視化を求める意見書
- ▽浄水過程において有害物質を発生させる化学物質の河川等への排出規制を求める意見書
- ▽東京電力福島第一原子力発電所事故による千葉県の観光事業者の風評被害が迅速かつ適切に賠償されるよう措置することを求める意見書
- ▽短期的地震予知の研究を推進することを求める意見書
- ▽尖閣諸島の実効支配を推進するための法整備を求める意見書
- ▽国における平成二十五年度教育予算拡充に関する意見書
- ▽義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書
- ▽「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書
- ▽再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書

### 採択された請願

- ▽食肉輸出認定の施設整備について(第一項、第二項)
- ▽法務局が担う登記の事務及び権限を地方に移管することに反対する意見書の提出について
- ▽重度心身障害者(児)医療費助成の窓口無料化を求めることについて
- ▽千葉県北総・東総地域の酪農の振興に関することについて(第一項、第六項)

### 各常任委員会の 主な質疑から

#### 総務防災常任委員会

地域防災計画修正案の実効性を高めるため、県はどのようなことを実施していくのか。

地域防災計画修正案では、それぞれの分野において実施要領、マニュアル等を整備しており、いざという時に計画やマニュアルに基づいて迅速に行動できるようにするため、訓練を通じて、実際の対応を身に付け、必要に応じてマニュアル等を見直すことなどにより、計画を有効性あるものとしていく。

#### 総合企画水道常任委員会

本会議の中で、IR導入に関して成田以外の地域についても検討を行うため、庁内関係課で構成するプロジェクトチームを設置するとの答弁があったが、どのようなスケジュールでどのような検討を行うのか。

IRについては、まずは、早急にプロジェクトチームを立ち上げ、本年度は、法案成立に向けた国の動きや全国各地域の取組状況を把握するとともに、県内市町村や地元経済界の意向などを調査し、それぞれの地域が持つ強みや、メリット・デメリットを整理していきたい。

#### 健康福祉常任委員会

生涯大学の改革案では、高齢者が地域活動の担い手になることに、重点を置いているが、生涯大学の卒業生と市町村の情報交換や連携を今後、どのような形でしていくのか。

新たな仕組みとして、市町村との連携、地域活動との連携の仕組み

#### 環境生活警察常任委員会

を作るためのコーディネーターの設置を考えている。

今回、放射能に汚染された「三焼却灰等の一時保管場所」として決定した手賀沼流域下水道終末処理場について、県は、このまま最終処分場とすることはないとしているが、その理由は何か。

手賀沼流域下水道終末処理場は、手賀沼流域関連七市の下水処理を行うために必要な行政財産である。今回は、一時的に保管場所として使用するものであり、この用地は今後とも下水処理のために必要であるため、最終処分場として認めることはない。

#### 商工労働企業常任委員会

茂原市内の製造業関連事業所の工場撤退に伴い設置した茂原地域等緊急雇用対策本部において、労働局、県及び茂原市はどのような雇用対策を実施してきたのか。

労働局では失業手当等の退職後の支援の周知や、ハローワーク茂原に特別相談窓口の設置、茂原市では千葉県緊急雇用創出事業等臨時特例基金を活用し、雇用の場の確保に努めている。

県では、基金の周知や雇用開拓員事業を行い雇用の場の確保に努めている。

#### 農林水産常任委員会

さらに、七月二日から茂原市役所内に「茂原地域ジョブサポートセンター」を開設し、求人情報や職業訓練情報の提供などを行っている。

有害鳥獣のうち、イノシシによる農作物への被害が拡大しているが、最近では、タヌキやカラスによる被害も多くなってきた。

猟銃を使用した駆除には法的制

約が多く、また、猟友会構成員が高齢化していることから、効果的な駆除のため、わなの使用など、自然保護課と連携した対策を取るべきと思うがどうか。

環境生活部と連携して、イノシシなどについて有害鳥獣対策を実施しているところであるが、今後は、タヌキ、カラスについても情報交換していきたいと考えている。

#### 県土整備常任委員会

九十九里浜の津波対策を進めるにあたって、保安林が広がっている区間が多いが、農林水産部とのように連携して対策を進めているのか。

また、現在の津波対策の進捗状況はどうか。

農林水産部との間では、昨年度より庁内と出先機関を含めた調整機関を設置し、施工区分等の協議を進めている。

また、現在、海岸堤防のかさ上げについて、対策工の設計に着手しており、地元との協議が整った地区から対策工に着手していきたい。

#### 文教常任委員会

ちばアクアラインマラソンは、千葉の魅力発信する大切な機会と考えるが、どのように周知を図るのか。

また、地元市と連携して千葉をアピールするアイデアなどがあるのか。

七月十三日には「二日前イベント」を開催し、著名人ランナーの公表や県内ご当地キャラクターを「ちばアクアラインマラソン応援団」として任命するなど、大会開催の周知と機運の醸成を図っていく。

また、木更津市と袖ヶ浦市の一部の小・中学校は、当日を登校日とし、沿道での応援をしていただけると聞いている。

常任委員会委員									議会運営委員会委員													
委員会名	総務防災	総合企画水道	健康福祉	環境生活警察	商工労働企業	農林水産	県土整備	文教	16 / 16													
定数/現員	12 / 12	12 / 12	12 / 12	12 / 12	12 / 12	11 / 11	12 / 12	12 / 12														
委員長	鈴木 衛 (自民党)	伊藤 昌弘 (自民党)	大松 重和 (自民党)	中台 良男 (自民党)	内田 悦嗣 (自民党)	亀田 郁夫 (自民党)	江野澤吉克 (自民党)	白井 正一 (自民党)	委員長 石橋 清孝 (自民党)													
副委員長	秋山 光章 (自民党)	林 幹人 (自民党)	今井 勝 (自民党)	瀧田 敏幸 (自民党)	佐野 彰 (自民党)	木下 敬二 (自民党)	武田 正光 (自民党)	松下 浩明 (自民党)	副委員長 阿井 伸也 (自民党)													
委員	自民党	本清 秀雄	伊藤 和男	川名 寛章	河上 茂	宍倉 登	酒井 茂英	浜田 穂積	宇野 裕	信田 光保	西田三十五	委員	渡辺 澄夫	本間 進	石橋 清孝	佐藤 正己	阿部 紘一	伊藤 勲	小高 伸太	吉本 充	光保 芳邦	江野澤吉克
		石毛 之行	岡村 泰明	木名瀬捷司	山口 登	田中 宗隆	信田 光保	阿井 伸也	斉藤 裕	伊藤 昌弘	瀧田 敏幸		阿部 俊昭	秋林 貴史	松本 浩明	松下 浩明	阿部 俊昭	秋林 貴史	斎藤 守			
		谷田部勝男	渡辺 芳邦	山中 操	服部 友則	皆川 輝夫	鶴岡 宏祥	鈴木 昌俊	鈴木 昌俊	中沢 裕隆	松本 浩明		阿部 俊昭	秋林 貴史	松本 浩明	阿部 俊昭	秋林 貴史	斎藤 守				
		村上 純丈	實川 隆	木村 哲也	山本 義一	坂下しげき		西田三十五	西田三十五	関 政幸	関 政幸		阿部 俊昭	秋林 貴史	阿部 俊昭	秋林 貴史	阿部 俊昭	秋林 貴史	斎藤 守			
			小池 正昭																			
			河野 俊紀	大川 忠夫	竹内 圭司	杉田 守康	天野 行雄	石井 宏子	横堀喜一郎	湯浅 和子	堀江 はつ		高橋 浩									
			田中 信行	網中 肇	磯部 裕和	堀江 はつ	岩井 泰憲	高橋 浩	中田 学	矢崎堅太郎	石井 敏雄		高橋 浩									
委員	民主党																					
委員	公明党			横山 秀明	藤井 弘之	秋林 貴史		塚定 良治	石川 信一													
委員	共産党			丸山 慎一				加藤 英雄	岡田 幸子													
委員	市民ネット・市民・無所属		入江 晶子	ふじしろ政夫	山本 友子	小宮 清子																
委員	みんなの党				佐藤 浩	松戸 隆政																
委員	一人会派	プリティ長嶋 (千葉県民の声)	西尾 憲一 (無所属の会)																			

(平成24年7月6日現在)

(平成24年7月6日現在)

### 平成24年9月定例県議会 会期及び議事・委員会予定(素案)

月 日	議 事 予 定	開議予定時間
9月19日(水)	開会 知事提案理由説明	午前10時
26日(水)	質疑並びに一般質問	//
27日(木)	//	//
28日(金)	//	//
10月1日(月)	//	//
2日(火)	//	//
3日(水)	//	//
5日(金)	常任委員会(商工労働企業・県土整備)	//
9日(火)	// (農林水産・文教)	//
10日(水)	// (総務防災・健康福祉)	//
11日(木)	// (総合企画水道・環境生活警察)	//
16日(火)	委員長報告等 採決 閉会	午後1時

※本案はおおよその日程であり、招集日前の議会運営委員会にて協議し最終決定します。

### 議会において 同意・選出された委員・議員

監査委員	吉本 充 (自民党) 田中 信行 (民主党)
競馬組 合員 議会議長	服部 友則 (自民党)
君津広 域水道 企業団 議会議長	江野澤吉克 (自民党)

(平成24年7月6日現在)

### ちば中学生県議会決議文

#### 交通安全の推進による安心して暮らせるちばづくりに関する決議

平成二十三年の交通事故による全国の死者数は、四千八百十一人、このうち千葉県は、百七十五人で全国ワースト八位と、厳しい状況にあります。さらに、最近では、千葉県も含め、全国各地で、無謀で危険な運転による痛ましい事故が相次いでいます。

交通事故の原因のうち、飲酒運転や居眠り運転、スピード違反などの悪質で危険な運転は、運転者のルール遵守の意識が低く、その危険性をきちんと認識していないことが大きな問題であると考えます。

また、自動車等の運転者だけでなく、一方で、私たちが安心して街を歩けるよう、歩道の整備や道路の改良、信号機の設置など、事故が起りにくい安全で安心な街づくりを進めていくことも重要なことと考えます。

ちば中学生県議会では、私たち中学生も含め、家庭や学校、職場、地域の民が、協力して、交通ルールやマナーを守るとともに、交通施設の整備を進め、交通事故による犠牲者のない「交通安全県ちば」の実現に向けて、一層努力していくことを、強く希望します。

ちば中学生県議会  
平成二十四年八月十二日

ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、紙面の都合上、一人四項目まで掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

六月二十日(水)



共産党 加藤 英雄 議員 (柏市)

知事の政治姿勢(消費税増税) 雇用と暮らしを守る問題 内部被ばくから子どもを守る取り組み 震災被災者の仮設住宅と復興住宅



自民党 渡辺 芳邦 議員 (木更津市)

IR(統合リゾート) 木更津市金田地区 国の基幹的広域防災拠点 津波対策



みんなの党 水野 文也 議員 (市川市)

人件費 外環の周辺整備 放射線児童クラブ 仕組み債



自民党 瀧田 敏幸 議員 (印西市)

千葉ニュータウン事業の収束 北総鉄道 放射性物質を含む焼却灰の一時

保管 総合防災拠点



民主党 高橋 浩 議員 (木更津市)

国家公務員給与削減後の県職員給与 子ども医療費助成事業の拡大 アクアライン普通車八百円恒久化 農地・水保全管理支払交付金事業



自民党 江野澤 吉克 議員 (袖ヶ浦市)

農業問題 道路問題 プレジャーボートの不法係留対策 県有地



自民党 実川 隆 議員 (山武郡)

PCB廃棄物の処理 成田空港 震災対策 農林漁業問題



自民党 内田 悦嗣 議員 (浦安市)

震災対策 放射線問題 難病対策 企業庁問題



自民党 松下 浩明 議員 (山武市)

高齢者虐待対策と山武地域の医療問題

道路問題 観光事業対策 子どもの読書活動



民主党 湯浅 和子 議員 (松戸市)

放射能と内部被曝 男女共同参画の推進(政策決定の場に女性を) 東京外かく環状道路の環境問題 教育問題(少人数学級)



自民党 村上 純丈 議員 (習志野市)

震災対策 危機管理体制 ひたたくり防止対策事業 県民の日事業



自民党 小池 正昭 議員 (成田市)

成田国際空港 道路行政 農業問題 公設卸売市場



公明党 塚定 良治 議員 (市原市)

災害に強い県土(国土)づくり 健康福祉センター 交通事故等による後遺症問題 中房総観光の振興に向けて



自民党 坂下 しげき 議員 (市川市)

県民が望む政策を実行するため

の財源確保 法令遵守 県民の命、生活を守る政策



民主党 石井 敏雄 議員 (八千代市)

里山条例推進と緑を守る仕組みづくり 農林総研成果と普及指導員の役割 高齢者の孤立化防止へ市町村支援 県道船橋印西線八千代宗像線進捗



自民党 武田 正光 議員 (流山市)

小児救命集中治療ネットワーク 放射線児童クラブ 生活保護からの脱却支援

振り込め詐欺犯罪の防止



自民党 秋山 光章 議員 (館山市)

道路問題 南房パラダイス 農業後継者対策 農業問題(放射性物質について)



市民ネット・社民・無所属 藤代 政夫 議員 (鎌ヶ谷市)

知事の政治姿勢 生物多様性と三番瀬 真間川流域整備計画における大柏川第一調節池

強度行動障害者の地域移行



自民党 斎藤 守 議員 (船橋市)

高等学校における教科書採択 子どもを産み、育てる県日本一を目標として 家族再生 道路問題



自民党 宍倉 登 議員 (千葉市花見川区)

幕張新都心 県営水道 コンパクトなまちづくりの推進 県有資産の有効活用

6月定例県議会 知事あいさつ

県管理施設に係る放射性物質の除染について申し上げます。4月に「千葉県放射性物質除染実施プラン」を公表しました。除染対象は、県が管理する施設等で、毎時0.23マイクロシーベルト以上の空間放射線量が計測された施設のほか、未測定でも周辺の測定値から推測されるものを含んでいます。子どもの生活環境を重視し、県民の健康不安を払拭していきます。

県産農林水産物の放射性物質のモニタリング検査について申し上げます。県では、4月以降「食品中の放射性物質の新たな基準値」に対応し、主要産地などでサンプリング点数を増やすなど、検査体制の強化を図ったところです。検査結果は速やかに公表し、その原因を究明し、対応策を農家に示しています。今後も、消費者に安心していただけるよう、県産農林水産物のイメージアップを図っていきます。

千葉県地域防災計画の修正について申し上げます。東日本大震災での教訓を本県の防災対策に生かすため、今般、修正案を作成しました。「命を守る」、「生き残る」ための対策を最優先とした、自らを守る「自助」、助け合ってお互いを守る「共助」、これらを支える国・県・市町村による「公助」が一体となり、地域防災力の向上を図っていきます。また、津波対策強化のため、「震災編」を「地震・津波編」に再編し、総合的な津波対策を推進します。さらに、ライフラインなどの液状化対策や支援物資の供給体制の整備、帰宅困難者対策、放射性物質事故対策などを進めます。「避難のための津波浸水予想図」と「液状化しやすいマップ」を公表しました。「津波警報の際は、どこまで避難したらいいか」、「自宅周辺が、どのくらいの震度で液状化しやすいのか」等の、県民の疑問に答え、具体的な防災対策に結びつくよう工夫しました。今後も、市町村と連携し、防災対策に全力で取り組んでいきます。

本県の人口減少への対応について申し上げます。本県の人口は、昨年1年間で約1万人減少し、本年に入っても約7千人減となっています。その要因を分析するため、「千葉県人口動態分析検討会議」を設置しました。この結果をもとに、本格的な人口減少社会の到来に向けて、進むべき方向性を見極め、「暮らし満足度日本一」を実感できる千葉県の実現に、全力で取り組んでいきます。



千葉県が持つポテンシャルを一層活用した取組について申し上げます。成田空港のポテンシャルを最大限活用する取り組みとして、第3回「グレードアップ・『ナリタ』活用戦略会議」を開催しました。IRの導入検討調査や国内LCCの就航予定など成田空港を取り巻く環境は活発化しており、今後、有識者のご意見を踏まえ、提言をまとめていきます。また、東関東自動車道館山線、木更津南ジャンクションから富津竹岡インターチェンジ間の4車線化事業が決定しました。4車線化が、本県観光の振興や南房総地域の活性化に寄与するものと期待しています。さらに、木更津に首都圏最大級のアウトレットモールがオープンし、首都圏をはじめ、国内外から多くの来客と、約2千人もの新規雇用が創出されるなど、大きな経済波及効果をもたらしています。県では、魅力的な観光地づくりを引き続き積極的に進めていきます。「ちばアクアラインマラソン」について、申し上げます。大会には国内外から2万7千人を超す応募があり、抽選で参加者を決定する予定です。当日は、沿道でのパフォーマンスや、ゴールでの千葉県の物産紹介など、アクアラインをはじめとする本県の魅力を県内外にアピールしていきます。

海外出張について報告します。5月末から、ドイツ連邦共和国を訪問しました。デュッセルドルフ市では市長に、東日本大震災の支援へのお礼を県民を代表して申し上げました。また、「日本デー」では、千葉の魅力とポテンシャルをPRするなど、意見交換や視察を通して得たことを、今後の千葉県の観光振興や地域づくりに生かしていきます。

そのほか、議案の概要説明がありました。

千葉県議会ホームページ

千葉県議会ホームページで動画配信中 その他、県議会情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

- 主な掲載内容
○議会議員の紹介 ○傍聴・見学
○インターネット中継(ライブ・録画)
本会議及び予算委員会(直近2年分視聴可)
○会議録検索 ○会議の概要
○議会図書室の利用案内



(ホームページアドレス)
http://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html
または、検索サイトで
千葉県議会 を 検索 してください。